

勃起機能と下部尿路症状との関連: 日本の大規模調査 (JaCS2023) による影響因子の解明

Association of Erectile Dysfunction and Lower Urinary Tract Symptoms the 2023 Japan

Community Health Survey (JaCS 2023)

1. 研究の対象

日本排尿機能学会が集めた（日本の人口構成に基づく確率抽出法により選ばれた、20 歳から 99 歳までの男女合計 6210 名（女性 3088 名、男性 3122 名）が参加した）のうち男性 3122 名を対象とします。

2. 研究目的・方法

今までの研究により、下部尿路症状（LUTS）を有する男性では、勃起不全（ED）のリスクが高いことが報告されています。しかし、これらの知見の多くは特定の集団や過去のデータに基づくものであり、最新の日本の疫学的データを用いた包括的な再検討が求められます。本研究では、2023 年の最新の大規模調査データを用いて解析し、LUTS と ED の関連性を明らかにするとともに、それらに影響を与える因子を特定することを目的とします。

研究期間：研究機関の長の実施許可日～2026 年 3 月 31 日

利用又は提供を開始する予定日：2025 年 6 月

3. 研究に用いる試料・情報の種類

1 か月あたりの性交回数、勃起した時の陰茎（ペニス）の硬さとこれらの勃起機能関連の変数と、年齢、アルコール摂取習慣、喫煙歴、基礎疾患（糖尿病、高血圧、脂質異常症など）との関連を統計解析により評価します。下部尿路症状に関しては、蓄尿症状として、日中の頻尿、夜間頻尿、切迫感、切迫性尿失禁、ストレス性尿失禁、排尿症状として、いきみ、残尿感、間欠性、排尿時の力み、排尿後症状として、排尿不完全感、排尿後失禁/排尿後尿漏れ、膀胱痛等です。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への連絡先・研究責任者：

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮 TEL：088-866-5811（代表）

高知大学医学部附属病院 骨盤機能センター（准教授・副センター長） 清水信貴